

グラクソ・スミスクライン株式会社 / グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社 / ヴィーブヘルスケア株式会社

× 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ ジャパン

GSK は、より多くの人々に「生きる喜びを、もっと」を届けることを存在意義とする科学に根差したグローバルヘルスケアカンパニーです。私たちのビジネス活動と CSR 活動は同じ土台に立っており、どちらも私たちの助けを必要としている人々に貢献するという点においては同じ目的の下にあると考えています。また私たちは、社会への貢献により得られる新たな経験が、普段の業務にも必ず活かされると考えており、社長や役員をはじめ社員が積極的にボランティアを行っています。

2009 年より全社員にボランティア休暇オレンジデーを付与し取得を推進しています。この取り組みは、人々の“生きる喜びを、もっと”を実現するためのものであり、参加した社員のチームワークの強化にもつながっています。近年は全社員の 60%にあたる 1800 人以上が様々なボランティアに取り組んでいます。最も多くの社員が活動しているのが全国に 12ヶ所あるドナルド・マクドナルド・ハウスです。昨年は 600 名以上、そして本年は社員の 1/4 にあたる約 750 名が活動しています。

重い病気による入院や手術のため病院での生活を余儀なくされている子供たちに付き添うご家族のためのこの施設では、自宅から遠く離れた病院で自分のことは二の次でサポートに専念し、お子さんが眠るまでベッドの傍に付き添い、疲れてハウスに戻ったご家族は簡単なお弁当などで食事を済ませていらっしゃるそうです。

そんなご家族を応援するために、私たちから温かい手作りの食事を提供し、明日の元気につなげていただくという活動をオレンジミールという名称で実施しています。

医薬品の研究開発により患者さんに貢献することに加えて、このような活動を通じて、私たち一人ひとりが一丸となって一つのチームになることで、もっと多くの人々に手を差し伸べることができるということを社員は誇りに思っています。

このような機会に患者さんとご家族の気持ちに寄り添うことで、ヘルスケアの分野への更なる貢献に想いを新たに、それが社員の活力になっています。この活動から得られる学びや利用者さんからの感謝の言葉は、私たちのカルチャーを作り上げていくためのかけがえのないものです。これらの活動は、有志の社員によるチームで運営されており、参加者の募集や、応募者と各ハウスとの日程調整など役割を担っています。



チームのアイデアで、“料理には自信が無いけれど、病気と闘うお子さんたちを看病するご家族のお役に立ちたい”という社員向けに、ハウスの掃除を行うハウスクリーニングの募集も始まりました。また、活動の参考になる情報（活動の詳細、FAQ、参考レシピ集など）をイントラネットで公開、活動後は感想やレポートを社内 SNS に投稿し全社で共有するなど、より多くの社員が参加しやすい環境づくりを行っています。

利用者の方々やハウスのニーズに沿った活動を行っていくために、ハウスマネージャーから必要なニーズの聞き取りも行っています。こういった連携が、ハウスで開催されるバザーのお手伝いや、社員から集めた物品の提供。また、クリスマスをお家で過ごすことができない子供たちへプレゼントを届ける取り組みを行うことなどにもつながっています。

光栄なことに、ハウスの周年事業やフォーラムで、パネラーとして登壇や表彰を受ける機会もいただくことができました。“患者さん中心”を掲げる私たちのすべての活動において、ビジネスと社会貢献は車の両輪のようにそれぞれを高め合うものであると考えています。私たちはこれからもこの活動を推進し、社会への貢献を強化していきたいと考えています。



第4回企業ボランティア・アワード大賞
(2019年2月22日)